

令和 7 年度 第 2 回江北町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和 7 年 5 月 8 日（木）14：00～14：30
- 2 場 所 公民館 2 階講座室
- 3 出席者 下表のとおり

【構成員】

番号	役 職	氏 名
1	町長	山田 恭輔
2	教育長	吉田 功
3	教育長職務代理者	浪瀬 隆一
4	教育委員	重松 亜須香
5	教育委員	溝口 泰弘
6	教育委員	田中 薫

【こども教育課・学校づくり推進室】

番号	役 職	氏 名
1	課長（兼室長）	坂元 弘睦
2	課長代理	峯 清美
3	係長	野田 あゆみ
4	主査	山口 香奈
5	主任指導主事	内川 梨恵子
6	専門員	牟田 久俊

【事務局：総務政策課】

番号	役 職	氏 名
1	副町長	山下 宗人
2	課長	山中 博代
3	課長代理	小野 政己
4	主査	古賀 元気
5	主事補	古賀 優梨愛

4 議題 令和7年度の教育課題解決に向けた取組状況について

○開会（山中課長）

○挨拶（山田町長）

○議題

—牟田専門員より学力向上について報告—

（1）令和7年度の進捗状況（報告）

- ① 英語検定事業の周知：児童生徒及び保護者へ（マチコミ・広報5月号）
- ② イングリッシュキャンプ準備：日程及び内容調整中
- ③ 小中合同研修会：小中合同の英語部会設置、日程及び内容調整中

（2）令和8年度の取り組みについて（検討課題）

- ・児童生徒の国語力向上について
現状分析（読む、書く、話す、聞くそれぞれの達成状況）
対策の必要性及び焦点化
- ・読書環境の整備
現状分析（幼児教育センター、小学校、中学校、ネイブルなど）
環境整備の検討

【浪瀬委員】

- ・英検は来年度も継続して行うのか。
- ・8年度の国語力向上は漢検を実施するのか。

【山田町長】

- ・8年度は国語力向上や読書環境などはしなくてもいい。3月議会の一般質問に全部答えるのではなく教育委員会としての考え方をぶれないようにしてほしい。最初になぜ英語だけ実施をするのか聞かれたときに理由を述べてもらったはず。今回は英語に絞って継続的にやってほしい。

【田中委員】

- ・英検受験の取組は子ども達が勉強をする習慣を身につけるために始めた。6年生を見ていると家庭学習が定着してないと思う。家庭学習をしないと学力も上がらない。学校だけでは、身につくものも身につかない。英検を受験す

るために家庭学習学力向上すると定着するように家庭学習をしてもらうために何とかならないか。

【山田町長】

- ・英検を通じてどれだけ学習習慣を定着させられるかを考えてほしい。英検を受験させることが目的ではない。
- ・英検 1 回目不合格の場合 2 回目同じ級の受験は無料であるならば、1 回目も受けるようにした方が良いのでは。生徒は自分がどのくらいの級を受けていいのかかわからないと思う。自分の目標を決めた方がいいと思う。1 回目も受験して実力を知ってもらうのも大切。
- ・イングリッシュキャンプは、熱中症対策も考えてほしい。場合によっては外ではなく白木パノラマ公園等を使う。暑さで中止になる事が分かっているやることがないようにしてほしい。熱中症対策を前提に計画立ててどんな形でも実行できるようにしてほしい。
- ・太良町も英検の補助をする。学校の教え方ではなく、勉強のさせ方を研究してほしい。西部教育事務所と意見交換してほしい。
- ・教育力向上ではなく学習習慣定着が元々の目的にしていた。これを前提に考えてもらいたい。

【牟田専門員】

- ・1 回目の英検の学習会は勉強の仕方を教えるようお願いしている。夏休み前に英検の勉強の仕方をひと通り説明してもらう。英検の内容よりも自宅での勉強の仕方を教えるように依頼している。

【山田町長】

- ・来年度の国語力や英検、学習環境の定着等まとめたが いいと思う。
- ・国語も大事だが、やらないと言っているわけではなく、まず特別に英語をしているので英語がいいのではないかな。

【牟田専門員】

- ・英検は小学校 6 年生にも受験してもらうが、中学校の生徒対策に比べて小学校に対する手当が手薄だと感じる。学習状況調査を小学校低学年・中学年の国語力をターゲットに研究したい。予算要求などはせず、教育委員会内部で国語、算数、英語といったところで分析を深掘して授業の改善に繋げたい。新しい事をするのではなく、どうして家庭学習をしないのか、授業が分からないのか、を分析しっかりする。

【山田町長】

- ・英検受験では、小学校低学年への働きかけが不足する。小学校低学年からの学習習慣づけが大事なのでそこを英語検定とは別にやりたいのであればいいと思うが、それが国語力かどうかはわからない。実際子ども達がどうやったら家で勉強をしてくれるのかを考えて手当した方が良く思う。
- ・学力状況調査の結果を待たずしても英語ではカバー出来ない習慣づけの取り組みは別に考えたいと言う事なら納得する。

【田中委員】

- ・小学校低学年からの家での家庭学習の習慣を付けているとそのまま学年が上がるごとに自分の勉強の仕方が分かっている。
- ・家庭学習をちゃんとしている子の家はしっかり保護者が目をかけている、言葉をかけている。保護者の関心を引くというのもとても大事だと思う。

【山田町長】

- ・元々の目的が学校外での学習習慣の定着。だから子ども達に英検受験させる、学校で英検の準備講座をすることではない。

—牟田専門員より部活動の地域移行（地域展開）について報告—

（１）令和７年度の進捗状況（報告）

- ・大町町との拠点校方式による合同部活動
大町町から中学生が１名バスケットボール男子として活動。
- ・地域クラブ認定
要綱を制定して募集をするよう行っているが、人材確保や団体をどう選定するかという課題がある。

（２）令和８年度の取り組みについて

- ・土日の部活動の地域展開に向けた準備
地域クラブに土日の部活動の地域展開を引き受けてもらえるような準備（指導者への謝金・保護者負担をどうするか）の課題が残っている。

【山田町長】

- ・あまり進んでいないように感じる。
- ・令和８年度の話を話す前に、目の前のことを具体的に進めてもらう。
- ・吹奏楽部はどんな状況か。

【坂元課長】

- ・両中学校校長先生同士でこちらから大町教育委員会に伝えた事について協

議をして、両校の職員の先生に拠点校方式について理解してもらう。その後見学会の調査、部活動をしてない生徒へのアンケート調査をして見学会を5月末から大町町と実施する。

【山田町長】

- ・一緒に行く事を前提に見学会をしないといけないのではないかな。

【田中委員】

- ・吹奏楽をしたい子がいるのか。部活希望のアンケートを取ったのか。

【坂元課長】

- ・1年生と部活をしていない2，3年生にアンケートとる予定。

【山田町長】

- ・子ども達のニーズに基づいてアンケートを取るなら、江北町に無くて大町町にあるものを伝えないといけない。その中に元々できないものがあれば、ニーズを取っても応えられない。「これは合同でできますが、みなさん希望ありますか」という風にする。
- ・令和8年度の取り組みで土日の部活動の地域展開は言わなくていいと思う。土日だけ始めても行き詰ると思う。

—牟田専門員より教育支援センターについて報告—

(1) 4月の利用状況

見学・相談に来た児童・生徒は7名。うち、3名がほぼ毎日通級している。
見学については、学校関係者や保護者含め24名の見学があった。

(2) 今後の取り組み

- ・不登校児童生徒、保護者への相談活動
- ・アウトリーチ（訪問支援）の実施
- ・ICTを活用した仮想空間での継続的な交流・支援

【山田町長】

- ・前回議論した長期休業中の教育支援センターはどうなったか。

【牟田専門員】

- ・基本的に指導員の勤務日は開所する。

【山田町長】

- ・長期休業は来る、来ない関係なく開所してほしい。

—牟田専門員より施設老朽化について報告—

(1) 検討状況

小学校・中学校の施設改修計画（案）

- ・足場を組んで設計が必要なものは今年度の実施ができないが、夏休み・冬休みを使って工事改修できるものは優先的に6月補正で挙げる。
- ・下駄箱、教室の後ろ棚、手洗い場の老朽化が目立つところやケガをしやすところを中心に6月補正で願います。

(2) 今後の取り組み

学校の授業、行事等への影響調査（工期、工法等）

【山田町長】

- ・議会に最終議決を受けられる、その前提として議案としてちゃんと上げられるものなのか。
- ・5年間で8億か9億使うことになっている。議員に約10億もかかるなら建物建て直したらいいのではと言われると思うが、今の所立て直しには80億位かかる。10億を何にどういう順番で使うのかをきちんと説明をしないとイケない。今回、予算の承認が取れたら5年間は計画的に改修が出来る。
- ・5年間で10億かけて今の学校で改修をやるという所に踏み出す所が論点だと思う。80億かかっても新規でやった方が良くという人もいるかもしれない。その時どう言う抗弁ができるのか。80億と10億比べたら10億が安いけれど、新規でしたほうが何十年に1度しかないことと言われた時に10億ですするという意気込みで教育委員会は望んでくれないとイケない。

○閉会（山中課長）

・